

問1 基盤の目状に整備された平城京の区画内に位置し、鑑真によって戒律が伝えられた唐招提寺が含まれる世界遺産「古都奈良の文化財」がある場所について、日本全国を対象とした地理的説明として最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 近畿地方に位置し、古くから政治や文化の中心地として発展した奈良県周辺 | 2. 北海道地方に位置し、アイヌ文化や北方との交易の歴史を持つ地域 | 3. 東北地方の南部に位置し、中世に奥州藤原氏が黄金文化を築いた福島県周辺 | 4. 九州地方の北部に位置し、古くから大陸との外交の窓口として機能した地域 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|

問2 奈良時代に作られた「下総国葛飾郡(しもうさのくにかつしかぐん)の戸籍」のような当時の社会制度を知るための重要な公文書や、聖武天皇ゆかりの宝物が現代まで良好な状態で保存されてきた、東大寺にある施設はどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 正倉院 | 2. 法隆寺 | 3. 唐招提寺 | 4. 興福寺 |
|--------|--------|---------|--------|

問3 班田収授法によって人々に分け与えられた「区分田」という土地に関して、その仕組みと税負担の関係を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 土地の面積に応じて、収穫した稲の一部を納める「租」という税が課された。 | 2. 都で働く労役の代わりに、布を納める「庸」という税が課された。 | 3. 地方の特産品を都まで運んで納める「調」という税が課された。 | 4. 開墾した土地を永久に私有することを認める代わりに、高い税が課された。 |
|--|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|

問4 奈良時代、聖武天皇が国ごとに国分寺や国分尼寺を建立するなど、仏教の力で国家を治めようとしていた時期、政府は口分田の不足を補うために、新しく開墾した土地の永年私有を認める法令を出しました。この法令によって、公地公民の原則が崩れるきっかけとなったものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|-----------|----------|---------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 三世一身の法 | 3. 班田収授法 | 4. 大宝律令 |
|------------|-----------|----------|---------|

問5 日本最古の歌集である万葉集には、東国などから九州の沿岸警備のために派遣された兵士たちが詠んだ「防人の歌(さきもりのうた)」が収録されています。当時の兵士たちが歌の中で表現していた、共通する心情として最も適切なものはどれか。 (2022年 京都公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 遠い九州の地で、外国の優れた文化を学べることへの期待感 | 2. 天皇のために命を捧げて戦うことを名誉とする、兵士としての強い決意 | 3. 律令制度による重い兵役の負担の中で、故郷に残した家族を思う切実な悲しみ | 4. 都での華やかな生活を懐かしみ、貴族の文化に憧れる優雅な気持ち |
|--------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|

問6 奈良時代において、疫病の流行や政治的な混乱から国家の安定をはかるため、仏教の力で国を守ろうとする思想を何と呼びますか。この思想に基づき、各地に国分寺や国分尼寺が建立されました。 (2017年 奈良公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 鎮護国家 | 2. 律令政治 | 3. 本地垂迹 | 4. 王土王民 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 奈良時代の聖武天皇の時代を中心に、仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づいて発展した文化があります。この文化は、遣唐使によってもたらされた唐の進んだ制度や、シルクロードを経由した西アジアの文化の影響を強く受けているのが特徴です。この文化の名称と、その国際的な性格を象徴する施設についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 天平文化と呼ばれ、正倉院にはペルシャ風の器物などの国際色豊かな宝物が納められた。 | 2. 国風文化と呼ばれ、日本独自の美意識に基づいたかな文字や物語文学が発展した。 | 3. 飛鳥文化と呼ばれ、法隆寺の建築に見られるように中国や朝鮮半島の技術が取り入れられた。 | 4. 弘仁・貞観文化と呼ばれ、最澄や空海が伝えた密教の影響を受けた仏像が多く作られた。 |
|---|--|---|---|

問8 律令制のもとでは、政府が民衆を把握するために「戸籍」が作成され、それに基づき「口分田」が与えられました。この仕組みにおいて、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、地方の特産物を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税が課されました。これら二つの税の名称として正しい組み合わせを選んでください。 (2025年 長野公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|----------|
| 1. 調と庸 | 2. 租と庸 | 3. 防人と調 | 4. 公事と夫役 |
|--------|--------|---------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 近畿地方に位置し、古くから政治や文化の中心地として発展した奈良県周辺	唐招提寺は、現在の奈良県に位置しています。この地域は古代日本の政治の中心である平城京が置かれた場所であり、中国の唐の都にならった都市整備が行われました。九州北部や東北、北海道といった他の地域にもそれぞれ重要な文化遺産がありますが、律宗の拠点である唐招提寺や東大寺、興福寺などが集中しているのは近畿地方の奈良盆地です。
問2	答え 1 正倉院	東大寺の北西に位置するこの施設には、武器や楽器、調度品といった美術品だけでなく、当時の政治や社会の仕組みを裏付ける戸籍などの行政文書も数多く保管されてきました。これにより、奈良時代の律令制度の実態を現代に伝える極めて重要な歴史的役割を担っています。
問3	答え 1 土地の面積に応じて、収穫した稲の一部を納める「租」という税が課された。	班田収授法で貸し与えられた区分田には、面積に応じた税負担が設定されていました。これが「租」であり、収穫した稲の約3%を納める義務がありました。一方で「庸」や「調」は、土地ではなく、成人男性などの「人」に対して課された税であり、区分田の有無とは別の基準で徴収されていました。
問4	答え 1 墾田永年私財法	人口の増加にともない、班田収授法に基づく口分田が不足したため、政府は開墾を奨励しました。723年の三世一身の法に続き、743年に出されたこの法令は、一度開墾した土地を永久に自分のものにするのを認めたため、有力な貴族や寺院による土地の私有が進み、後の荘園の形成へとつながりました。
問5	答え 3 律令制度による重い兵役の負担の中で、故郷に残した家族を思う切実な悲しみ	律令制度のもと、民衆には租・庸・調などの税のほか、防人のような厳しい兵役が課されていた。防人の多くは東国から徴兵され、遠い九州の地で長期間家族と離れて生活しなければならなかったため、万葉集には彼らが故郷や家族を深く思いやる素朴で切実な歌が多く残されている。
問6	答え 1 鎮護国家	奈良時代の聖武天皇は、天然痘の流行や貴族の対立による社会の不安を解消するため、仏教によって国家を安定させる「鎮護国家」の思想を推進しました。この方針に基づき、都には東大寺、諸国には国分寺・国分尼寺が建てられることとなりました。
問7	答え 1 天平文化と呼ばれ、正倉院にはペルシャ風の器物などの国際色豊かな宝物が納められた。	聖武天皇は仏教による国家の平安を願い、東大寺の大仏造立や全国への国分寺・国分尼寺の設置を命じました。この時代の文化は「天平文化」と呼ばれ、遣唐使の往来によって唐の文化が直接流入したほか、正倉院の宝物にはギリシャやペルシャ、インドに起源を持つ文様や器物が含まれており、当時の日本が国際的なネットワークの中にあったことを示しています。
問8	答え 1 調と庸	律令国家の税制では、6歳以上の男女に与えられた口分田に対して課される「租」のほかに、成人男性の負担として、地方の特産物を納める「調」と、年間10日の都での労役（歳役）に代えて布を納める「庸」がありました。また、これら以外にも九州北部の警備にあたる「防人」などの兵役も課されていました。